

農地法第3条の規定による許可申請書

空欄のままでもかまいません。

令和 年 月 日

刈谷市農業委員会会長 殿

申請者

<譲渡人（貸人）>

住所 刈谷市〇〇町××123番地

氏名 乙川 一郎

<譲受人（借人）>

住所 刈谷市□□町〇〇1番地

氏名 甲野 太郎

←申請者双方の捺印
(代理申請の場合は職印)

代理人（行政書士）申請の場合は、上記のほか、代理人の住所・氏名・電話番号を記載し、職印を押印してください。（譲渡人・譲受人の印鑑は不要です）

下記農地（採草放牧地）について

- 所有権
- 賃借権
- 使用貸借による権利
- その他使用収益権（ ）

を 設定(期間 年間) 移転

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。（該当する内容に○を付してください。）

申請時点での満年齢を記入してください。

記

1 申請者の氏名等（国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。）

申請者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格又は 特別永住者	在留期間及び 在留期間の満了 の日	認定経営発展 法人(該当する 場合○)
譲渡人 (貸人)	乙川 一郎	70	無職	刈谷市〇〇町×× 123番地				
譲受人 (借人)	甲野 太郎	50	農業	刈谷市□□町〇〇 1番地	日本			

2 許可を受けようとする土地の所在等（土地の登記事項証明書を添付してください。）

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料等 の額(円) 〔10a当たりの 額〕	所有者の氏名又は 名称 〔現所有者が登記 簿と異なる場合〕	所有権以外の使用収益権が設 定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類	権利者の氏名 又は名称
〇町××11	田	田	1,000	1,000,000 (1,000,000/10a)	乙川 一郎 ()		
〇町××12	田	畑	300	400,000 (1,333,333/10a)	乙川 一郎 ()		
以下余白							
計	田		1,000				
	畑		300				

田・畑の現況の合計面積を記入してください。

() 内には10aあたりに換算した金額を記入してください。
400,000円÷300㎡×1000=1,333,333…

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

申請者	権利移転の事由
譲渡人 (貸人)	譲受人の希望により、売却します。
譲受人 (借人)	申請地を譲り受け、経営面積の拡張を図り、農業にまい進します。

捨印 4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容



権利の種類	所有権
権利を移転し、又は設定しようとする時期	許可日 又は 令和 年 月 日
土地の引き渡しをしようとする時期	許可日 又は 令和 年 月 日
契約期間	令和 年 月 日 から 年
備考	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> 貸借権・使用貸借権の設定の場合のみ 契約開始日とその期間を入力してください。 </div>

(記載要領)

- 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 国籍等は、住民基本台帳法(昭和 42 年法律第 81 号)第 30 条の 45 に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあっては在留資格、特別永住者にあってはその旨を併せて記載してください。法人にあっては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
 また、在留資格を記載する場合は、在留期間(出入国管理及び難民認定法(昭和 26 年政令第 319 号)第 2 条の 2 第 3 項の在留期間をいう。)及び在留期間の満了の日も併せて記載してください。
- 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄附行為の写しを添付（独立行政法人及び地方公共団体を除く。）してください。
 なお、年齢の記載は省略してください。
 農業経営基盤強化促進法(昭和 55 年法律第 65 号)第 16 条の 3 第 1 項に規定する認定経営発展法人が譲渡人である場合には、記の 1 の「認定経営発展法人」に○を付してください。
- 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、記の 4 の備考欄に水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。